



「高原峠を歩く」

—旧会津西街道最大の難所—

藤原地域



藤原公民館の「歴史探検教室」が4月22日に行われる。



●湯西川温泉駅に午前9:00に集合
参加者一行は係員から説明を受けた後、休憩を挟んで所要時間はおよそ七時間。落伍者も無く、約4里の悪路、難路を全員が踏破した。

●まさに健脚向きの難コース。
当日の天気予報によると、早ければ午後から雨模様とのこと。
天気を気にしながらの強行軍。



●それでも、呼びかけ人の一人阿久津徹男さんは
「苦しかったけど、高原峠からの眺めは絶景でしたよ!」と
今では歴史に埋もれている、古道を歩いたその喜びを語った。



文久3年(一八六三)川治温泉を通る新しい街道の開通にもなつて村民は下山を余儀なくされた。石に書かれた「文久三年下ル」のこの文字には、住み慣れた土地を離れる村民の哀惜がこめられている。

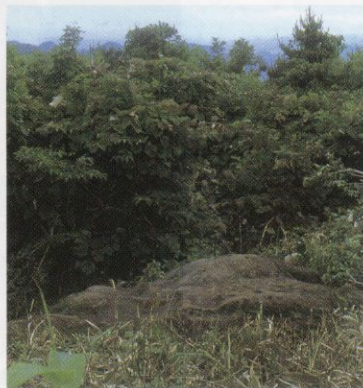
文久三年下ル 高原磁石石



旧高原間屋敷跡

●今回の歴史探検教室の講師大塚建一郎さんは、高原新田宿ではかつてこの土地に住んでいた先祖に思いをはせつつ、史跡の説明を務められた。
江戸時代の会津西街道は、川治を通らずに藤原から高原新田を経由して五十里へと進み、高原新田宿には会津から日光、江戸へと行き来する多くの旅人がこの地に宿泊した。

高原新田宿



高原磁石石